

チェンバロ収蔵記念コンサート

「雅な響きとの出会い」

チェンバロ・ バロックの調べ

HARPSICHORD BAROQUE



小田郁枝
Cembalo



川本真利江
Flauto



入場無料

PROGRAM

- ペツォールト: メヌエット ト長調、ト短調
J.S. バッハ: イギリス組曲 No.2 プレリュード
管弦楽組曲 No.2より
ポロネーズ、バディネリ
F. クーラン: 神秘のバリケード ほか

2014年

11月3日(月・祝)

開演14:00(開場13:30)

昭和まちづくりセンター
(旧昭和公民館)

〒737-0935 呉市焼山中央2丁目8番12号

2014年

11月6日(木)

開演14:00(開場13:30)

呉市文化ホール
エントランスホール(ロビー)

〒737-0051 呉市中央3丁目10番1号



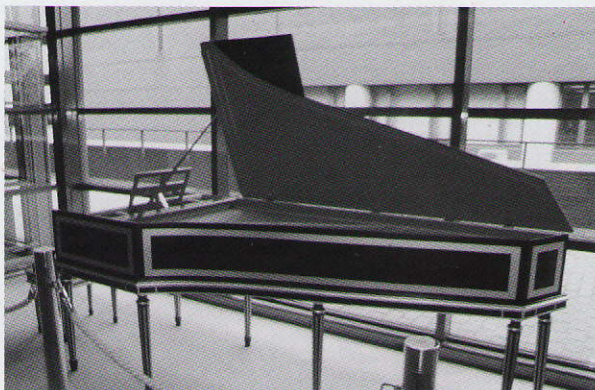
公益財団法人

呉市文化振興財団

呉市中央3丁目10番1号 呉市文化ホール内

「雅な響きとの出会い」 チェンバロ・バロックの調べ

HARPSICHORD BAROQUE



◆チェンバロについて

チェンバロ(イタリア語)は、フランスではクラヴサン、イギリスではハーブシコード、ドイツでは外来語としてチェンバロと呼ばれる鍵盤楽器です。

見た目はグランドピアノによく似ていますが、音は鳥の羽根の軸やプラスチックなどでできた小さな爪で弦を弾いて出します。

楽器本体は、よく響くケースになっていて、その中に弦が張ってあります。小さな爪で弦が弾かれることで出る音色は、ピアノとは全く異なったものです。

チェンバロは16世紀に入ってイタリアで生まれ、さらにこの世紀の中頃にはフランドル地方(今のオランダからベルギーにかけて)でも作られました。

そして、フランスをはじめヨーロッパ各地に広まりました。

チェンバロが最も盛んに弾かれたのは、17世紀から18世紀中頃までです。

室内楽やソロに不可欠な楽器として、大切な位置を占めていました。そしてこの時期は、バロック音楽の隆盛期と一致しています。

バロック時代には、チェンバロでなくては表現できない数々の名曲が作曲され、また楽器作りでも、演奏上の可能性を高めるための探究が重ねられました。

◆フレンチ二段チェンバロ

(J・C・グジョン 1749年モデル)

寄贈者/濱本直人 贈呈日/平成26年8月12日

【グジョンモデル】

ジャン=クロード・グジョン 1749年作のチェンバロは、パリ音楽院所蔵の名器中の名器として余りにも有名です。

グジョンは、その頃の主流であったフレミッシュ様式から、フランス様式へ移行して行く橋渡しとなった歴史的にも重要な作品を世に残しました。

彼は、当時一世を風靡していた“ルッカーズ”一族の楽器を時代とともに広い音域を必要としてきた楽曲に合わせ改造するという作業を通して徹底的に研究し尽くしました。

こうしてグジョン独自のモデルは、ルッカーズの力強く輝かしい音に独特の温かく深みのある音を見事に融合させた作品となりました。

このチェンバロは、ギタルラ社の工房で1986年にこのような楽器をモデルに製作されたものです。

(株)ギタルラ社 HP 使用許諾

■ルッカーズ

1580年頃より、フランドルのルッカーズ一族の新しい様式をもつフレミッシュ・チェンバロは、他地域の製作家に大きく影響をあたえ、一族の楽器は名器として珍重された。

■ジャン=クロード・グジョン

フランスのチェンバロ製作は17世紀の保守的なスタイルから18世紀のフレンチへと進化し、グジョンは1748年-58年に活動した製作家として絶頂期のヴェルサイユを背景に一大頂点を築いた。

- ◆様 式…フレンチ二段チェンバロ
(J・C・グジョン 1749年モデル)
- ◆スタンド…ルイ十六世 スタイル
- ◆外 寸…奥行240cm×幅94.5cm×高さ96cm
- ◆音 域…FF~f3(5オクターブ61鍵)
- ◆配 列…8'×8'×4'、パフストップ付、スライディングカブラ
- ◆ピ ッ チ…A=415Hz ⇄440Hz
- ◆塗 装…外側(黒・ゴールド)、内側(紅色・金)
専用椅子 共塗装仕上げ
- ◆付 属…椅子(1脚)
- ◆製 作 年…昭和61年(1986年)
- ◆製 作 社…株式会社ギタルラ社 東京古典楽器センター



公益財団法人
呉市文化振興財団

〒737-0051
広島県呉市中央3丁目10番1号 呉市文化ホール内
電話番号 0823-25-7878 FAX 0823-23-6511
http://kure-bunka.jp/